

凡事徹底 野間中だより

平成28年2月25日
第224号
野間中学校



卒業まであとわずか！



9年間の義務教育が修了する3月4日(金)の卒業式まであとわずかとなりました。卒業を前に2月19日(木)3年生はお世話になった学舎を清掃・整備しようとPTA協力のもと愛校作業が行われました。翌20日(金)には卒業を祝い「お祝い給食」がありました。

愛校作業 学校中がピカピカになりました。ありがとうございました。

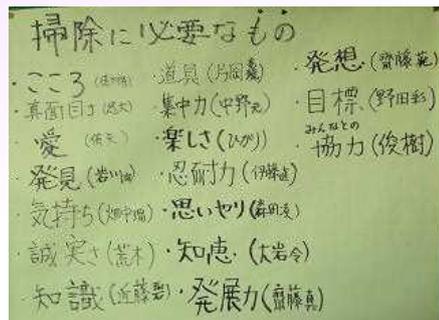


お祝い給食 いつもとは違うメニューと雰囲気でも楽しい給食でした。



「掃除に必要なもの」ってなんだろう？

現在、野間中学校では生活委員会・美化委員会合同企画で始まった「もくもくクリーナーZ」が2学期に引き続き実施されています。本館東階段・2階東渡り・2階トイレ・北館東階段を担当する2年生17名は毎日の清掃の後、1日1人ずつ、「掃除に必要なもの」を発表し合っています。気持ちに関するもの、道具に関するものなど様々な掃除に必要なものが発表され、2階トイレ前の掲示板に記入されています。みなさんだったら、「掃除に必要なものは？」と問われたらなんとこたえますか。



表彰の記録 (順不同・敬称略)

第43回人権を理解する作品コンクール標語の部 (半田人権擁護委員協議会・名古屋法務局半田支所)
奨励賞 岩川 優太・竹部 莉菜・占部 瑠音

第38回室内ハンドボール選手権大会 第3位

中野 小雪・神谷 桃可・中村 倫華・榊原 羽純・榊原 美空・山岸 優・青木あさひ・田島菜々華
中島 舞彩・齋藤さつき・沼田 麻佑・野田 桐子・青木はるひ・天木 綾弥

編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp

今後の予定

3月 2日(水) 3年生給食最終
4日(金) 第69回卒業式
24日(木) 1・2年生 修了式

4月 6日(水) 新2・3年生出校日
7日(木) 平成28年度入学式・始業式



平成28年度 宿泊をともしなう行事予定

3年生 修学旅行 東京方面
5月24日(火)・25日(水)・26日(木)
2年生 郡上八幡研修 岐阜県郡上市
6月19日(日)・20日(月)・21日(火)
1年生 美浜少年自然の家合宿 美浜町
5月 7日(土)・8日(日)



野間中 今年度の研究・授業実践

教務主任 清水 靖

「わかる喜び・できる楽しさを実感できる生徒の育成を目指して」 — 学習規律の確立と基礎基本の定着を図る学習指導を通して —

「わかる」「できる」を実感できる授業づくりを目指しての授業研究実践、今回は田中菜穂美教諭の3年生家庭科「衣生活、住生活などの生活の工夫」の授業実践について紹介します。

田中菜穂美教諭の授業実践

家庭科3年 衣生活、住生活などの生活の工夫 単元について

身近な衣服の材料である布を用いた物の製作を通して、自分や家族の生活を豊かにするための工夫ができるようにする。題材については、製作を通して、生活を豊かにすることの大切さを実感できるようにする。さらに、製作することで物を大切に作る心や成就感をはぐくみ、また、製作品を活用することで、製作の励みや活用の喜びを味わわせたい。



教諭 田中菜穂美 学習計画

- ・裁縫道具の種類と布の裁断方法を知る。
- ・裁縫ミシンの使い方と片付け方について知り、下糸巻きを行う。
- ・上糸のかけ方を知り、直線縫いを行う。
- ・ネックウォーマーの製作をする。

目標

- ・ミシン縫いに関心を持ち、安全に正しく使うことができる。
- ・下糸を巻くポイントをつかみ、考えをまとめることができる。

基礎基本の定着を図る学習指導の具体的な手立て

ミシンの扱い方を分かりやすく説明するために、生徒たちが実際に使用する本校のミシンをモデルとしたピクチャーカードや教師が撮影・編集した動画を用いた。視覚的に説明することで、実習への意識の高揚を図った。制作途中の過程を評価することで、生徒のつまづきを発見するとともに緊張感をもった授業進行にした。また、評価カードをつくることによって、実習の評価をその場で瞬時に生徒一人一人に伝え、学習の成果と反省をまとめさせ、次回の実習に生かした。

考察

従来、演示(実際に教師が手本を見せる)によって指導していた内容だが、広い被服室で生徒一人一人がミシンの準備・構造・扱い方を短時間で教授することは、大変に難しく、以前は生徒を2班に分け少人数にして2度演示していた。今回は、ポイントを分かりやすく説明した自作の動画を使って、クラス全員に一齐に説明できたことは、隔週で行う3年生の授業において、実習時間の確保につながったり、生徒一人一人への細かな指導につながり、毎時間繰り返し動画を見ることで、ミシンの出し方・片付け方・扱い方などを詳しく伝える手立てとしても有効であった。

評価カードは、その場で技能の評価を提示し生徒が実習を省みることができた。今後も、基礎基本の定着度の確認を毎時間図っていきたい。



自作動画での学習



ミシンの実習

次号は名塚美喜教諭の3年生道徳「人々の善意や支えに応える」の授業実践を紹介します。